

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 きよらなり
①可憐だ ②立派だ ③華麗だ ④新鮮だ
- 2 あてなり
①高貴だ ②裕福だ ③端正だ ④普通だ
- 3 あからさまなり
①いつものようだ ②懸命だ ③ちよつとの間だ ④もちろんだ
- 4 かたくななり
①情趣を解さない ②愛情がない ③身分が低い ④愚かしい
- 5 あだなり
①不用意な ②ごさかしい ③情けない ④不誠実だ
- 「B」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

6 かの鬼の虚言は、このしるしを示すなりけりと言ふ人も侍りし。（徒然草）

（訳）あの鬼についての流言（＝鬼が都に現れたという根拠のないうわさ）は、この（病氣流行の）「」を示すものだったのだと言う人もございました。

- ①災い ②前兆 ③結果 ④現実

7 大方は知りたりとも、すずろに言ひ散らすは、さばかりの才にはあらぬにやと聞こえ、おのづから誤りもありぬべし。（徒然草）

（訳）大体は知っていても、「」言いちらすのは、さほどしっかりした才能ではないのであろうと思われ、しぜん誤りもあるにちがいない。

- ①むやみに ②意味もなく ③そのまま ④いい加減に

8 夏は夜。月のころはさらなり。（枕草子）

（訳）夏は夜（が趣深い）。月の出ているころは「」。①言うまでもない ②そうではない ③さらによい ④それほどでもない

9 おほやけに御文奉り給ふ。（竹取物語）

（訳）「」にお手紙を差し上げなさる。

- ①主君 ②天皇 ③都 ④実家

10 いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。（源氏物語）

（訳）それほど高貴な「」ではない方で、とりわけ（帝の）寵愛を受けていらっしやる方がいた。

- ①容貌 ②身分 ③人柄 ④服装

11 露をなどあだなる物と思ひけむ（古今和歌集）

（訳）露をどうして「」ものと思っていたのだろう。①つまらない ②恐ろしい ③はかない ④もどかしい

12 こなたはあらはにや侍らむ。今日しも端におはしましけるかな。（源氏物語）

（訳）こちらは「」はございませんか。今日に限って端近なところにいらっしやいましたね。①眺めが悪く ②危険で ③まる見えで ④正面で

13 みづからもいみじと思へる気色、かたくななり。（徒然草）

（訳）自分でもえらいと思っているようすは、「」。①奥ゆかしい ②見苦しい ③道理に合わない ④いじらしい

14 いかに殿ばら、殊勝のことは御覧じとがめずや。むげなり。（徒然草）

（訳）なんと皆さん、（この）すばらしいこととお見とがめにならないのですか。（それでは）「」。①もったいない ②薄情だ ③まったくひどい ④残念だ

15 ただ文字一つにあやしう、あてにもいやしうもなるは、いかなるにかあらむ。（枕草子）

（訳）ただ（用いる）言葉一つで不思議に、「」も下品にもなるのは、どうしてだろうか。①最高に ②上品に ③粗末に ④滑稽に

